

令和2年第15回大川市教育委員会（定例会）会議録

令和2年12月23日、大川市役所第1委員会室において、令和2年第15回教育委員会（定例会）を開催した。出席者及び会議の経過並びに結果は次のとおりである。

1. 開会及び閉会に関する事項

開会 15時00分

閉会 16時40分

2. 出席委員の氏名

教育長 内藤 妙子

委員 谷川 朋昭

委員 一ノ瀬直子

委員 蔵本美保子

委員 恵崎 浩則

3. 欠席委員

なし

4. 事務局等の出席者

学校教育課長 馬淵 嘉臣

学校教育課主任教育指導主事 池上 和久

生涯学習課長 岡 辰磨

学校教育課長補佐 山口 馨

生涯学習課長補佐 岡 美詠子

生涯学習課長補佐 森 悟

記録者・学校教育課総務係 永島 潤一

5. 傍聴者

なし

6. 付議案件

審議事項

(1) 議案第40号 独立行政法人日本スポーツ振興センター共済掛金の徴収に関する規則の制定について

(2) 議案第41号 臨時代理の承認について（令和3年度大川市立小・中学校県費負担教職員の人事異動方針及び令和3年度大川市立小・中学校県費負担教職員の人事異動取扱方針の制定について

報告事項

(1) 会計年度任用職員等の任用について

(2) 大川市学校安全の日の取組について

(3) 福岡県学力調査結果について

7. 教育長の挨拶の要旨

(1) 12月定例議会について

一般質問において、教育委員会に関する質問があった。1つ目が、子どもたちの環境につい

てということで、コロナ対策の実施状況などについての質問があった。次に、大川市の不登校の現状と対応について質問があった。現状については、昨年度は小学生が2人、中学生が26人、本年度は10月現在で小学生が7人、中学生が22人。対応については、様々な機関と連携しながら行っていくと述べた。次に、大川桐英中学校・大川桐薫中学校の生徒の通学について質問があった。大川桐薫中学校はスクールバスがあるが、大川桐英中学校はなぜないのかということであったが、大川桐英中学校は、一番遠いところからでも距離が6キロ未満であり、基準内であることや、大川桐英中学校の生徒は毎日元気に自転車で通っているとお答えした。次に、学校の危険個所と安全対策についてということで、宮前小学校近くの道路の安全対策について質問があった。このことについては、道路管理者等と協議のうえで安全対策を行っていく。

(2) 共生社会ホストタウンイベント「心のバリアフリー研修会」について

12月19日、20日にイベントを行い、100人以上に参加いただいた。本市では、東京2020パラリンピックに際して、ペルー国のホストタウンに申請しており、今回は、事前に障がい者との接し方などを学ぶ機会づくりとしてイベントを行った。ブラインドサッカーを体験する内容で、とても意義のあるイベントになった。第2弾、第3弾も企画していく予定である。

(3) 「福祉・健康のつどい」の作文発表について

12月20日に大川市福祉・健康のつどいに参加した際に、小学校5年生の子どもたちの福祉作文の表彰・作文発表があった。学校で福祉の学びがあり、その際に自分が興味関心を持ったことについていろいろな方法で調べてみたことや、自分の今後の行動についての発表があった。どの子も内容が素晴らしく、学校での学びや個別最適な学びの大切さについて改めて実感した。

8. 議事の概要

審議事項	(1) 議案第40号 独立行政法人日本スポーツ振興センター共済掛金の徴収に関する規則の制定について
委員	なぜ今回規則を改正して、保護者等から共済掛金を徴収することになったのか。また、自己負担が発生するのであれば共済に加入しない人が出てくるのではないかと思うが、そういった点についてはどう考えているのか。
事務局	まず、今回の改正に至った経緯については、そもそも本来、法律内では、掛金の4割～6割は保護者負担という規定になっており、また、現状として、近隣自治体においては、本市と柳川市のみが保護者等から共済掛金を徴収しておらず、柳川市は来年度から徴収することとしたため、本市においても法律に基づいて徴収していくこととした。 また、保護者負担が発生した場合に未加入者が出てくるのではないかということだが、全国加入率が99.9%であることや、何かあった場合には負担した額以上の給付があることなどを周知し、加入率100%を目指していく。
委員	加入については強制ではなく、加入しない方がいる場合は、その方は未加入になるということか。
事務局	その通りである。あくまでも共済保険であるので、メリットを十分に説明し、加入率100%を目指す。どうしても加入されないという方がいる場合はそれ以上強要はできないだろう。

	《採決》 全員挙手により原案のとおり承認
審議事項	(2) 議案第41号 臨時代理の承認について(令和3年度大川市立小・中学校 県費負担教職員の人事異動方針及び令和3年度大川市立 小・中学校県費負担教職員の人事異動取扱方針の制定につ いて
委員	女性の主幹教諭・指導教諭の登用について、昨年度はそもそも女性の受験者が いなかったため文言を削除したとのことだったが、該当者がいないからというこ とで、方針内容自体を変更する必要があるのか。
事務局	女性の受験者がいない場合であっても、方針および取扱方針は変更しないとい うやり方もあるかと思う。考え方によると思うが、昨年度については、女性の受 験者がいなかったため、その部分を方針から削除している。
委員	単年度毎で異動方針および異動取扱方針を作成されているので、こういったこ とが起きるのだと思うが、もう少し長いスパンで作成はできないのか。
事務局	本市の方針は、県の方針および南筑後教育事務所の方針を受けて作成をして いる。県の方針が毎年制定されているので、本市においても毎年制定している。
委員	県や大きい自治体においては、女性の主幹教諭・指導教諭の受験者がいないと いうことはないと思うが、本市のような小さい市ではこういった状況は頻繁に あると思うので、今後の方針の作成については、そういったことを考えて行うこ とはできないのか。
教育長	来年度の方針については、委員の意見を踏まえたうえで作成する。
	《採決》 全員挙手により原案のとおり承認
報告事項	(1) 会計年度任用職員等の任用について
質問・意見等なし	
報告事項	(2) 大川市学校安全の日の取組について
質問・意見等なし	
報告事項	(3) 福岡県学力調査結果について
委員	タブレットが導入されたが、タブレットを使用してその子の習熟度や苦手分野 に合わせた授業ができるようにはなったのか。
事務局	個に合わせた学習ということでは、タブレットに入っているドリルのソフトで は、解答の正誤などに応じて次の問題が出るようになっている。

教育長	本市のICT教育の推進状況について説明をお願いします。
事務局	<p>現在、ICT教育推進プロジェクト会議を立ち上げ、各学校の先生が委員となり、会議を行っている。そのプロジェクトの中で、タブレット等の効果的な使い方を検討、研修を行っており、その内容を各学校の先生に対して研修会を行い周知している。</p> <p>また、各学校に対して研修用の動画を順次配信していくほかにも、人的支援として、GIGAスクールサポーターを各中学校区に1名ずつ配置し、各校月3回程ずつ従事していただく。</p>
委員	ある小学校の正答率がかなり低い、授業改善などで対応できるくらいの状況か。
事務局	この学校については、実際に訪問し、担任の授業内容の確認や、私自身も授業をしてみて、児童の授業態度を実際に確認したが、担任の指導の仕方などについては、問題は感じられなかった。一方で、やる気・最後までやり遂げる力・友達とのコミュニケーション能力といった非認知能力については、かなり厳しいように見え、その部分を育成していく必要があると感じている。そのためには、学級での取組が大事なので、担任の先生と共に指導にあたるほか、授業のやり方、学級経営の方法について一緒に考えていく。また、この学校では、学力調査結果でC、D層が多い結果となっているので、個別最適化を図ることを目的として、教科によっては習熟度別に4クラスに分けて指導を行うこととした。
教育長	教育委員会としても、気にかかっている学校であるため、学校の先生と一緒に改善している状況である。
委員	やる気・意欲がない子どもに勉強をさせても身につかないのではないかな。まず取り組むべきは、なぜ勉強しなければならないか、なぜ学習が大事かを、子どもたちが納得できるように教える必要があるのではないだろうか。
事務局	子どもたちが納得することにより、学習に向かう雰囲気が出てくると思う。
事務局	キャリア教育が必要であると感じる。小学生の頃から自分の将来について考える機会を作ることが大事。本市は小中高大連携を推進していて、大川樟風高校看護科の生徒に話をしてもらったりしているが、とても熱心に聞いている。そういった活動を通して、将来について意識させていきたい。
教育長	将来像を捉え、学びに向かう力が大事である。1人1人が勉強を頑張ろうと思うきっかけを作ることが我々がすべきこと。
委員	いろいろな立場の方との交流という意味では、コミュニティ・スクールを活用すると、また違ったことが見えてくるのではないだろうか。
委員	どんな職業に就きたいかだけでなく、どんな人間になりたいか、どのように

	<p>生きていきたいかが大事ではないだろうか。また、学校でもっと対話の時間があったほうがいいと感じる。習熟度別にクラス分けをすることもいいと思うが、子どもが子どもに教えるということもあっていいのではないだろうか。そうすることにより、コミュニケーション力の向上も期待できる。</p>
--	--